

おう ぼ さく ひん てん ほん き う  
応募作品1点につき1本の木を植えます

これまでの  
おう ぼ さく ひん すう  
応募作品数  
235,048てん点



山田養蜂場主催  
第12回 ミツバチの

いち まい が

# 一枚画 コンクール

おう ぼ  
応募  
期間

令和6年 3月8日(金)～7月15日(月・祝) 消印有効

おう ぼ しゃ ぜん いん さん か しょう  
応募者全員に 参加賞 を差し上げます



ち きゅうじょう い もの たが ふか かか い えが し ぜん かん きょう たい せつ いっしょ かんが  
地球上の生き物は、お互いに深い関わりをもって生きています。ミツバチを描くことで、「自然環境の大切さ」を一緒に考えたい、

そしてより良い世界をつくる目標SDGsにも意識を向けたい。そんな想いのつまったコンクールです。

とう  
当コンクールでは、応募作品1点につき1本の木を植える活動を続けています。

あなたの絵が1本の木になり、やがてはいのちを育む森となります。あなただけの素晴らしいミツバチの世界を自由に描いてください。

## 募集テーマ

「花とミツバチ」「自然の中のミツバチ」「人とミツバチ」など、自然環境の大切さや人との関わりを感じられるミツバチを描いた絵画。

## 発表

2024年10月下旬に朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、山田養蜂場の当コンクールウェブサイトで発表予定

## 部門・賞

### <国内作品>

| 部門        | 幼児の部                             | 小学生の部                            | 中学生の部                            | 一般の部<br><small>※他の部門に<br/>属さない方。</small> |
|-----------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|--|
| 賞<br>(大賞) | <1点><br>図書カード<br>5万円分<br>+<br>副賞 | <2点><br>図書カード<br>5万円分<br>+<br>副賞 | <2点><br>図書カード<br>5万円分<br>+<br>副賞 | <1点><br>賞金<br>10万円<br>+<br>副賞            |

上記のほか、各部署で優秀賞、入選、佳作 合わせて45点以上の表彰あり

・学校、クラス単位など団体応募も歓迎

◎ 団体奨励賞 ・・・コンクールの発展に寄与した学校・団体に授与します。受賞した小学校には児童書のセット、幼稚園・中学校・高校・画塾などには弊社商品をお届けします。

<海外作品> 17歳以下の部/18歳以上の部

※年齢は応募締切時点とする。※海外部門にも各賞あり

## 応募について

未発表で必ず本人が描いたものに限りです。(HPや同人誌への掲載は発表とみなします)

※応募作品は返却いたしません。作品は写真などの記録に残して応募してください。

詳しくはコンクールウェブサイトをご覧ください。応募用紙のダウンロードもできます。

URL  
<https://www.3838.com/ichimaiga>



🔍 一枚画コンクール 検索

## 問い合わせ・作品応募先

「ミツバチの一枚画コンクール」事務局

〒531-0077 大阪市北区大淀北1丁目6番29号

TOPPANビル4階 「ミツバチの一枚画コンクール」事務局

TEL 06-6452-3125 10:00～17:00  
土・日・祝日のぞく

## 応募者の声

応募者(小学生の部)より

自然の大切さを考える  
きっかけになりました

きれいな空気と水がある環境で咲いた花の蜜を、ミツバチが集めてそれを人間が分けてもらっています。地球の生き物は全てつながっているの、助け合う心が大切だと思います。コンクールに参加することで、自然の大切さを考えるきっかけになりました。

小学校の先生より

ミツバチと自然環境のつながりを知り、  
理科の単元への理解も深まっています

コンクールの目的である「命」や「社会性」「共生」の大切さを子供たちに考えてもらいたいと思い、参加しています。生徒は絵を描く過程で、ミツバチが草花の命をつなぎ、小さな体で大きな役割を持っていることを学びます。昆虫の生態を学ぶ単元の理解にもつなげています。

「実はすごい!ミツバチが作り出す  
おいしいはちみつのはみつ」

YouTubeにて動画を公開中!

🔍 山田養蜂場チャンネル 検索



■主催:株式会社 山田養蜂場 ■共催:朝日学生新聞社

■後援:玉川大学ミツバチ科学研究センター、国際児童図書評議会、日本国際児童図書評議会、JBBY、JHP・学校をつくる会

この活動は、  
文部科学省の生涯学習の  
一環として行っております。



山田養蜂場は  
こどもエコクラブを  
応援しています。



アピセラピーを追究する。  
山田養蜂場  
YAMADA BEE FARM